

新庁舎建設の候補地における主な課題について

1 現本庁舎敷地及び周辺地区

(1) 仮庁舎を手当てする場合

賃料又は仮設整備費用が余分に生じることから、本庁舎の仮移転は現実的ではないと考えられます。本庁舎の仮移転が可能となる民間所有地を中心市街地内に求めることは難しく、仮に可能となる民間所有地が存在した場合であっても、災害対応等の有事の際を考慮すると、民間施設が本庁舎の機能を担うことは望ましいとはいえません。

(2) 執務中の現状地建て替えの場合

ア 余分なコストが必要となること

仮庁舎を手当てするよりは、執務中の建て替えの方が無駄なコストは抑えられますが、更地に建て替える場合と比較して、1.2～1.5倍のコストがかかると考えられます。要因としては、既存施設・設備の仮設・切り回しが必要となること、既存施設への騒音・振動対応による工期の長期化等が挙げられます。

イ ワンフロアの面積が十分でないこと

十分なワンフロアの面積をとることができず、現在の庁舎が抱える狭隘化や窓口の分散化等の課題を解決することが難しいと考えられます。現在の本庁舎や他市の庁舎の整備事例を考慮いたしますと、短辺距離で少なくとも32mは確保する必要があります。また、ワンフロアの面積が狭い場合は、建設コストだけでなく維持管理コストも大きくなるとともに、高層になることから災害対応面でも不安が残る庁舎となります。

(参考) 各市ホームページによる短辺距離等の比較

自治体名	計画年度	階高最大 (m)	階高最小 (m)	短辺距離 (m)	延床面積 (㎡)	階数	人口		職員数	
長野県 中野市	27年度	4.5	4.0	33.0	6,471	地上6階	H26	45,958	H26	387
新潟県 燕市	22年度	4.2	3.9	32.5	11,444	地上4階	H26	82,241	H26	566
長野県 千曲市	27年度	5.0	4.1	-	12,346	地上5階	H27	61,358	H27	448
栃木県 佐野市	25年度	4.5	4.1	49.6	20,404	地下1階、地上7階	H26	121,966	H26	958
千葉県 浦安市	24年度	5.7	4.1	45.8	25,611	地上11階	H27	165,411	H27	1,284
千葉県 市川市	26年度	4.2	3.8	33.0	30,656	地上7階、地下1階	H26	472,757	H26	2,965
高知県 高知市	26年度	5.2	3.9	-	32,420	地上6階、地下1階	H27	336,052	H27	2,384
神奈川県 平塚市	23年度	4.8	4.2	56.8	36,421	地上8階、地下2階	H27	257,506	H27	1,655
神奈川県 茅ヶ崎市	25年度	4.4	4.1	38.6	20,180	地上7階、地下1階	H27	241,264	H27	1,431
厚木市 現本庁舎		4.5	3.8	32.0	9,016	地上5階、地下2階	H27	225,503	H27	1,518

2 中町第2-2地区

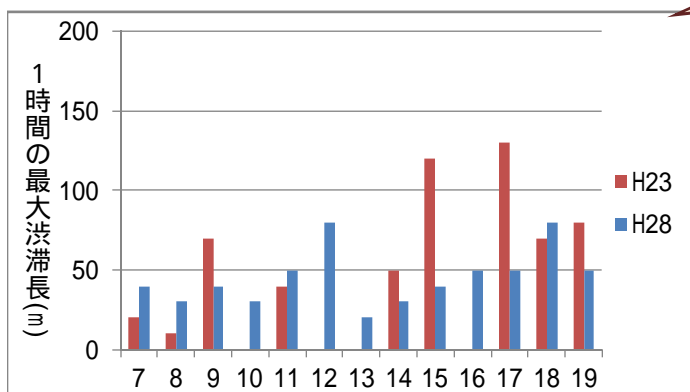
(1) 周辺交通への負荷

県道602号本厚木停車場線（あつぎなかちょう大通り）の交通渋滞の悪化が懸念される。

(2) 従来方針等との整合性

これまでの商業施設の誘致やサードプレイスのコンセプトと新庁舎建設の方針を整理する必要がある。

(3) 現在の交通状況



平成28年の最大渋滞長

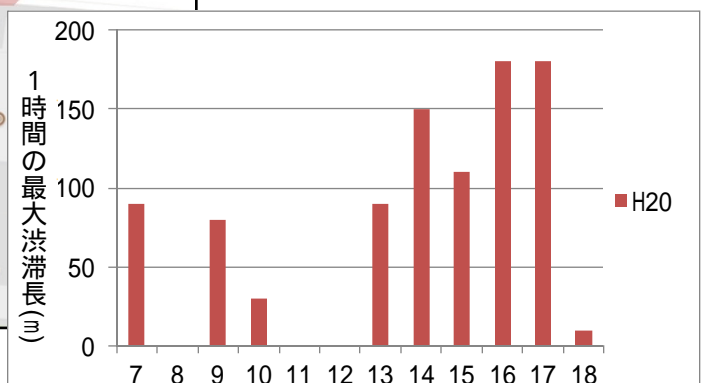
- * 平成23年と比較して、減少
- * 11~12時、16~19時に渋滞



渋滞の原因

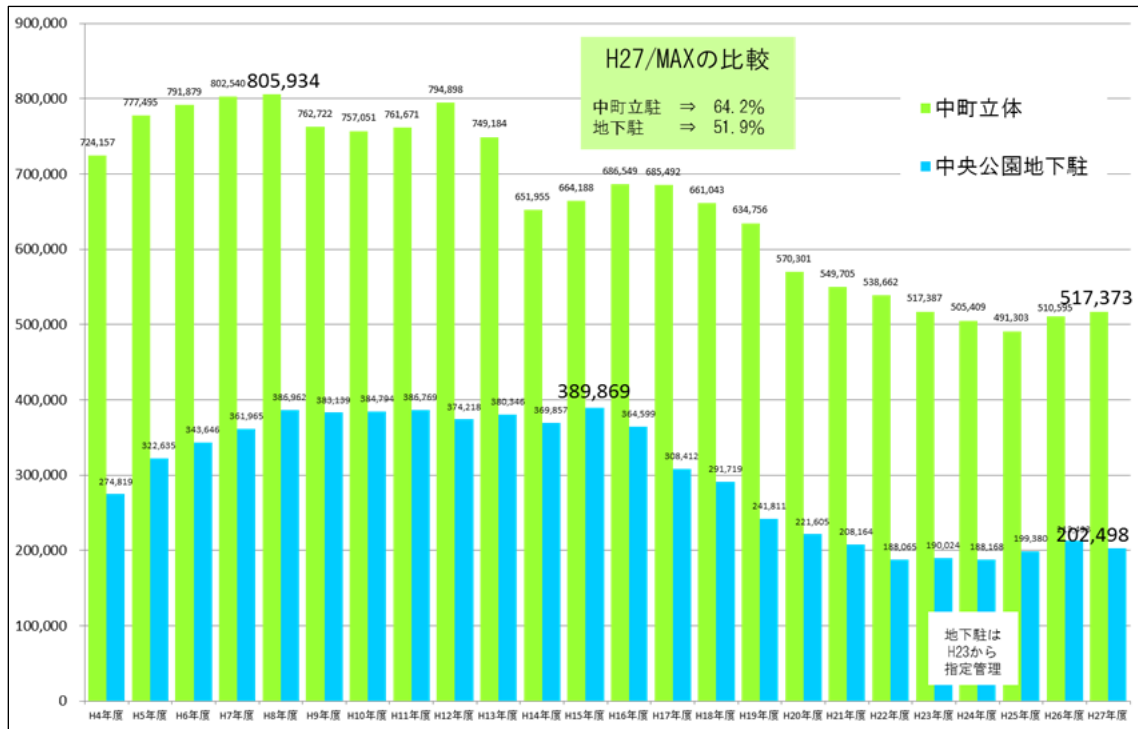
- * 信号密度が高い
- * 歩行者横断待ちが長い
- * バス停にバースがない

(参考) 現本庁舎敷地周辺の交通状況



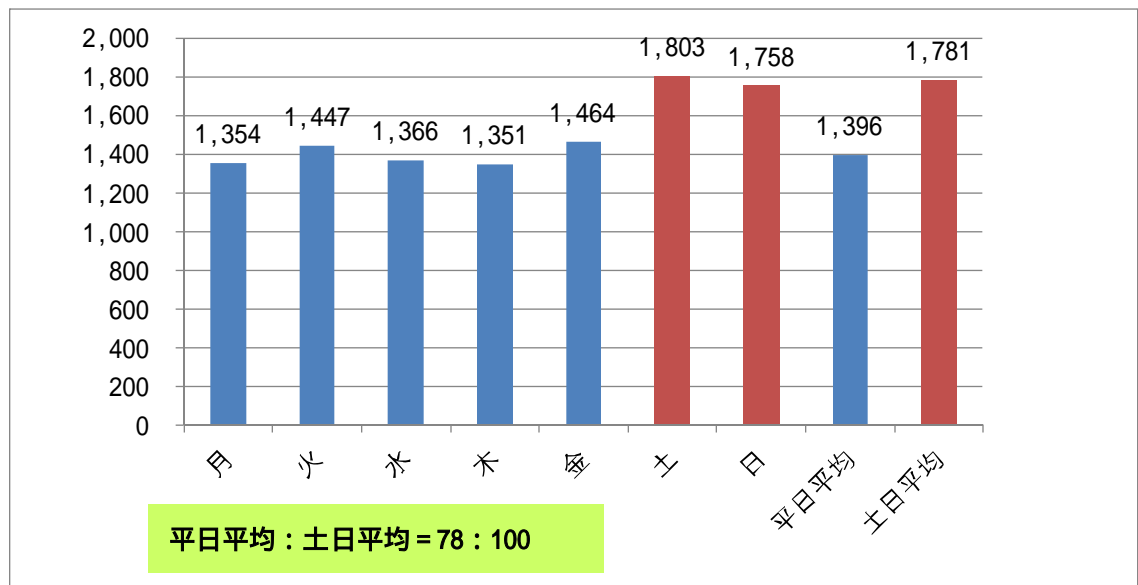
(4) 中町立体駐車場の利用状況

ア 年比較



本厚木停車場線の交通量及び中町立体駐車場の利用台数は、減少傾向にある。

イ 曜日比較



平日の利用台数は、土日の8割弱の利用に留まっている。